

インターバンクの声（2016 年 11 月 18 日）

ロンドン市場もアジア市場と同じくドルの上値が重くなり始めたようにも見えたが、その後のニューヨーク市場では改めてドル買い進んだ。ニューヨーク市場終盤には、遂にドル/円が 110 円を突破、ユーロ/ドルは 1.06 ドル台前半までドルが上昇している。市場は既に米連邦準備制度理事会 (FRB) の 12 月の利上げ確率が相当高いと見込んでいるが、イエレン FRB 議長が議会証言で経済データから引き続き労働市場の改善とインフレが進んでいることが確認出来れば「比較的早期に利上げする可能性がある」と言及することが事前配布のテキストで明らかとなり、12 月の利上げの可能性が一層高まった。

また、前日の指標結果は芳しくなかったが、この日は新規失業保険申請件数が 40 年ぶりの低水準となり、10 月の米住宅着工件数が 9 年 2 ヶ月ぶりの高水準に増加するなど、経済指標もドル買いを後押しした。この後、安倍首相が世界の首脳の中で初めてトランプ次期大統領と会う予定だが、特に深い両国間の懸案事項を話すことはなくても市場が歓迎の意をドル買いに込めているとの声も聞こえた。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。